

新年ごあいさつ



日本万引防止システム協会会長代行 稲本 義範

ります。

さて、最近の万引犯罪

の状況ですが、わが国の

刑法犯認知件数が、ピ一

クの平成14年に比べ半減

する中で、万引犯罪の減

少傾向は弱く、刑法犯認

知件数の11・8%、検挙

者の3人に1人を占める

に至っています。

またその特性として、

少年の犯罪を上回る高齢

者による犯罪の社会的問

題化や組織的万引による

高額被害事案の増加な

ど、万引犯罪の複雑化、

悪質化が目立ってきてい

ます。

経済的損失となり、企
業経営に大変深刻な事態
の状況ですが、わが国の
刑法犯認知件数が、ピ一
クの平成14年に比べ半減
する中で、万引犯罪の減
少傾向は弱く、刑法犯認
知件数の11・8%、検挙
者の3人に1人を占める
に至っています。

当協会は、平成14年に
日本EAS機器協議会と
して設立、その後、平成
23年に日本万引防止シス
テム協議会に名称変更し今
日に至っています。これ
までの17年間、関係省庁
はじめ関連諸団体の皆様
のご指導・ご支援を賜り
つつ、会員各社の協力の
もと、万引防止システム
関連に從事するあらゆる
企業が参画する万引防止
の産業団体に成長してお

取り組んで参ります。
さて、最近の万引犯罪
の状況ですが、わが国の
刑法犯認知件数が、ピ一
クの平成14年に比べ半減
する中で、万引犯罪の減
少傾向は弱く、刑法犯認
知件数の11・8%、検挙
者の3人に1人を占める
に至っています。

当協会としては、同様
のロスが1%を超えている
企業も相当数存在しま
す。

この甚大な経済的損失
の軽減の為に、当協会は
「万引防止システムの更
なる普及促進」と共に、
集団窃盗対策に有効な
「防犯画像の効果的な利
用法の確立」になお一層
注力し、同時に、「全国万
引犯罪防止機構」と連携
して、セキュリティ対策
(ワイヤレス対策、パスワ
ードなど)の推進を図る
こと。個人情報やプライ
バシー保護と防犯情報の利
活用のために「防犯力メ
ディア」や「画像認識シス
テム」のセミナーを行い、画像
の商業利用についての正
しい理解の普及に努める

て日本国内にEAS機器

エイスパック／メールな

所存です。

これらの遵守のために
行い会員を通じてお客様
に配布を行うこと。
う今一番ホットなテーマ
のセミナーを行い、画像
の商業利用についての正
しい理解の普及に努める

15分勉強会やJEASフ

ィ

来場の皆様には「顔画
像を利用した来店客検知
システム利用ガイド」や
冊子「ロスブリベンシヨ
ンへの道2」を進呈する
予定です。

日本万引防止システム
協会は、万引犯罪撲滅を
目指す唯一のソリューシ
ョン団体として「万引犯
罪をさせない店舗作り」
の推進を通じて、流通業
界の健全な経営、また青
少年の非行防止という産
業的、社会的役割を果た
いたきながら活動して参
ります。

9では、3年ぶりに協会
ブースの出展を行ふと共に
、セキュリティソリュ
ーションステージでは、
引き続き「支援」協力
関連諸団体のご支援をい

ただきながら活動して参
ります。

一般財団法人日本情報經
濟社会推進協会より講師
し上げます。